



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

1月園だより

令和3年1月8日
January 8, 2021
園長 河合 晴美
Principal
Harumi Kawai



幼小の連携

園長 河合 晴美

新年あけましておめでとうございます。

元日から青い空が広がり、清々しい年の始まりとなりました。旧年中は、保護者の皆さまをはじめ、地域の皆さまに大変お世話になりました。不安定な社会の状況下でも幼稚園に心を寄せ、御支援、御協力をいただきまして深く感謝申し上げます。

さて、冬休みが明けた3学期は、5歳児は47日間、3,4歳児は51日間の生活となります。4月には、5歳児さくら組は1年生、4歳児ばら組は年長さくら組、3歳児りんご組は年中ばら組となります。短い期間となる3学期は、見通しをもつとともに、これまでの生活を振り返りながら1年間のまとめとなる期間です。とりわけ、5歳児は「就学への期待をもち、自分の成長への自信と自覚をもつ姿」を目指します。そして、これらの姿を確実にするために南山幼稚園では、南山小学校と共に平成28年・29年に「自ら考え かかわりを深め 豊かな学びを創り出す子どもの育成」と題し、幼稚園教育からの育ちと小学校教育の学びをつなぐ幼小連携カリキュラムの作成、工夫を行いました。そして、幼稚園から小学校までの9年間を一つのカリキュラムとして捉え直しました。

5歳児後半から幼稚園修了までは「南山アプローチカリキュラム」をもとに実践を行い、他の小学校に入学する子どもたちも小学校の学びの基礎となる経験をし、修了が迎えられるようにしています。南山小学校では、さらに「南山スタートカリキュラム」により安心して生活できるように工夫され、主体的に学習に取り組む姿が保証されています。

環境に恵まれた南山幼稚園では、小学生のいろいろな姿を見ながら身近に小学校の存在を感じることに大きな意義があります。また、交流活動を通してのかかわりは、子どもたちにとってモデルとなる年長者への憧れとともに、未来の自分の姿を想像することができます。

新しい年は、昨年にも増して希望と可能性にあふれる年になることを願います。そして、充実した教育活動の中で、日常生活の一日一日が価値のある日々となり、成長につながる大切な一場面となるように、教職員一同力を尽くしてまいります。

健康で笑顔がいっぱいの毎日になりますように、今年もよろしくお願いいたします。



<5歳児と5年生との交流



エールのプレゼントをいただいたり、5歳児の合奏を見ていただいたりしました>



